



◆発行：千代田区商店街連合会 千代田区神田錦町三丁目21番地 ◆発行人：高山 肇 ◆編集：区商連事務局
TEL：5281-1171 FAX：5281-1178 URL：http://www.chiyodaku-shoren.jp

offline神保町 新春対談

クリエイティブな場所で 感性が出会う街へ



山本 俊哉 やまもと としや

明治大学理工学部建築学科教授
博士（学術）
関係行政機関や民間企業、NPO
等と連携し、安全・安心（防災・防
犯）、アート、建築・都市再生等、
幅広い視野から都市計画に関する
研究を進めている
著書・共著に「災害と命を守る『逃
げ地図』づくり」（ぎょうせい）
他多数



角谷 幹夫 かどや みきお

1957年創業、60年以上の歴史を
持つスポーツショップ「V3カドヤ」
を営む有限会社ヴィスリー角谷代
表／スポーツとB級グルメをこよ
なく愛する地域リーダー
神田スポーツ店連絡協議会会長
神田カレージランプリ発起人
神田雪だるまフェア実行委員
小川町北三町会 防犯部長
まえだれ会 会長



今本 義子 いまもと よしこ

明治35年初代店主が創設し、そ
の後洋書専門店に発展した本の街
神保町の老舗「北沢書店」の二女。
地域で、人と人が集い触れ合う書
店を創りたいと考え「北沢書店」
の一階で子供の本専門店「ブック
ハウスカフェ」を展開し、時代の
ニーズに応えながら新しい書店の
形を提案している



高山 肇 たかやま はじめ

明治8年創業、138年の歴史を持
つ老舗書店の「高山本店」4代目
店主／生まれも育ちも神保町の生
粋の神田っ子

千代田区商店街連合会会長
南神実業会会長

2021年の新春ということで、昨
年のコロナ禍でのことや、これから
の商店街について、お話しをしてい
ただきました。

山本 皆様、今年もよろしくお願
いいたします。

一同 よろしくお願ひいたします。

山本 昨年2020年は、本当に大
変な年でした、皆様の神田神保町の
商店街も例外ではなく、大変な1年
だったと思います。神田スポーツ店
連絡協議会会長で、スポーツ用品店
「V3カドヤ」を営む角谷さんはい
かがでしたか？

角谷 そうですね、昨年は、毎年開
催している、商店街主催のイベン
トの殆どが開催できなくて、本当に寂
しかったです。例年ならば、1月は
「神田小川町雪だるまフェア」が開
催されて、大賑わいの時期だったの
ですが、今年は開催できなくて本当
に残念です。

山本 こども向け本の専門店「ブッ
クハウスカフェ」を経営されている
今本さんは、どんな2020年でし
たか？

今本 年齢層の高い神保町で、新刊
のこどもの本専門店を3年半前に始
めました。ネット書店とは違う専門
店の魅力を出したいと、一歩一歩、



丁寧な接客や店舗イベントを積み重ねてきて、ようやく軌道に乗ってきタイミグでコロナ騒ぎになって大打撃でした。でも、コロナに負けるわけにはいかないと思っっています。

山本 南神実業会会長で、老舗古書店を営んでいる「高山本店」の店主、高山さんはいかがでしたか？

高山 そうですね、昨年は、「神田古本まつり」「神保町ブックフェスティバル」も開催がなくなって、暇になるかなと思っていたのですが、そうこうしているうちに、GOTO事業だとか、千代田区補助金の話であるとか、商店街の皆さんと話し合いをしなくてはいけないことができて、逆に商店街の結束が固まったということがありました。

商店街がつくる街の魅力

山本 神田神保町が関係する都市計画の歴史のひとつには、1972年ごろ靖国通りの上を高架道路が通る計画があったそうですね。

一同 あった、あった。

山本 その高架道路計画は頓挫しているのですが、その当時から商店街の皆さんの中には、「商店街は、歩いて楽しめることが大切」という意

見をもっていた人が多かったということでしょう。

それから半世紀ほど経過して、現在の世界の都市は、車中心の都市から、街を歩くことに着目した、「ウォーカブルシティ（※1）」という考え方が潮流になってきています。まさしく、商店街の生き残りは、そういった「歩いて楽しめる、ウォーカブルシティ」というコンセプトを中心にした都市計画にかかっていると思うのです。丁度、千代田区都市計画マスタープラン（※2）を改訂しているところで、商店街としては、どんな思いがあるのでしょうか？

高山 明治10年代に始まった神田古書店街の最初の大きな災害といえ、1923年（大正12年）の関東大震災ですね。関東大震災で古書店も大学も焼失して、そこから復興したのですが、関東大震災から60年たった1980年代頃に建て替えて、それからまた40年くらい経った今、建て替え更新をしていかなきゃならない時期にきているのです。

山本 街も変化の時期なのですね。

高山 建て替えと言っても、現在の神保町に多い20坪とか30坪の小さいビルをそのまま建て替えるのは難しい。どうしても共同建て替えにならないのです。そうになると、

近隣のビルとの共同建て替えか、再開発のような大規模建て替えをすることになるのですが、そうならないのです。

山本 そうなると、オフィスや住宅ばかりになって、商店が少なくなってしまうということになりますね。

高山 やっぱ、街の魅力は、商店や商店街の魅力だと思うのです。

TVでも雑誌でも口コミでも、注目されるのは、美味しい飲食店や、話題のお店ですから、街には商店は必要ですし、神保町には古書店や喫茶店や商店があったほうがいいし、従前からある良いお店が残ってほしいのですけど、大規模建て替えるすると、なかなか元の場所にはもどれない。もし建て替えをした場合、最近の相場だと靖国通りの路面店の坪単価が4万円から5万円だとして、20坪の店舗で80万円以上する賃料を支払えるかっていうと、従前から開いているお店は払えないよね。

今本 収益性の高いオフィスビルに建て替えるにしても、一階はなるべく店舗にしてほしいです。路面店は街の顔なので。

角谷 都心の街には、ビルばかりで個性的な店舗がなくて、非常にさみしい雰囲気が増えています。



ヨーロッパのウォーカブルシティのイメージ

※1 Walkable City ウォーカブルシティ

歩きやすい街、歩いて行ける街の意味で、近年提唱されている街づくりの概念の一つ。公共交通の充実と、街の賑わいの創造がウォーカブルシティの実現ポイントだと言われています。

※2 千代田区都市計画マスタープラン

千代田区都市計画マスタープランは、都市計画法に基づき、こんなまちにしたい、という区民の想いを具体的に描き、住民・企業・行政の協力によるまちづくりを進めるための指針として策定されています。



やはり、街を寂しい雰囲気にはしたくないなと思っていて。再開発をするにしても、ビルばかりではなくて、もっと広い公園みたいな歩道とかを考えたかなと思うのですね。例えば、駿河台下の靖国通り沿いの歩道を広げて、小川広場と一体化してその中に商店もあれば遊び場もあるような再開発とか。

山本 たしかに、例えばニューヨークは歩道をどんどん広げていつて、タイムズスクエアも道路を広場にして、歩いて楽しむとか、屋外のカフェテラスで食事を楽しむとか、そういった風景のある街づくりをしていますね。

今本 神保町も、この個性的な本の街の風景が長く続いていたらいいなと思います。自分が経営していく側になってみて、お店を続けていくということは、大変なことだと改めてわかりました。続けていくためには、情熱だけではだめで、ちゃんと黒字にしないといけない。これがなかなか難しい。商店街というのは、街の魅力を作り出す大切な役割もあるので、行政との連携や手助けがあったら、継続しやすくなるのではないかと思います。例えば、家賃の高い1階や2階の店舗に対する補助や応援があったらいいなと思います。

山本 例えば、東京を歴史的な文化資源をもっと街づくりに活かすことを目的とした、東京文化資源会議※³が注目されています。東京を魅力的な都市にするために文化の視点から街としての新たな可能性を追求した活動を進めています。神田神保町はまさしく文化の香りのする街を保有している地域ですよ。

高山 街そのものが文化の発信地だとすれば、千代田区の都市計画マスタープランのこの時期にね、これから50年先、100年先に向けてね、街にどんなニーズがあるのか、千代田区がどういう街をつくりたいかっていう話を議論していかなくちゃなっているんですよ。ただ、住宅やオフィスだけが街の魅力が何もなくなっちゃう。

駐車場と街の関係性

高山 あと駐車場の問題です。

今本 駐車場の付置義務が建て替えを難しくしていますよね。

山本 東京都の駐車場条例※⁴の問題ですよ。床面積の4分の3の合計が1500㎡を超えるビル、大体、建坪が70坪でも8階建てとか9階建てくらいだと駐車場を設置しなければならぬですよ。

高山 商店街の1階部分に、5mくらいの幅の駐車場の入り口があるところがあのですが、本当にもったいない。

山本 神保町のビルに駐車場を設置して、どのくらい稼働しているかを学生たちが調査したのですが、60%しか使われてないという結果でした。

角谷 バブルの頃は、駐車場が足りなくて、小川広場に駐車場を作ったのというのが、今ではそういう声は聞かれませんね。

高山 このあたりは地下鉄やJRもあるのですね、車で来る人は少ないから、ローカルルールで駐車場の附置義務は外してもらいたくなって思っています。

今本 そうですよ、個性的な街は、ローカルルールで守って、創っていないと。必要ない駐車場もそうですし、街づくりに貢献している店舗を守るようにしないと、油断するとコンビニやドラッグストアだらけの街になってしまいます。経済原則だけで街をつくと、どこも同じような街になってしまう。

高山 それからね、これからオリパラの問題も含めてね、バリアフリーの商店街へと変化していく必要はないかな。

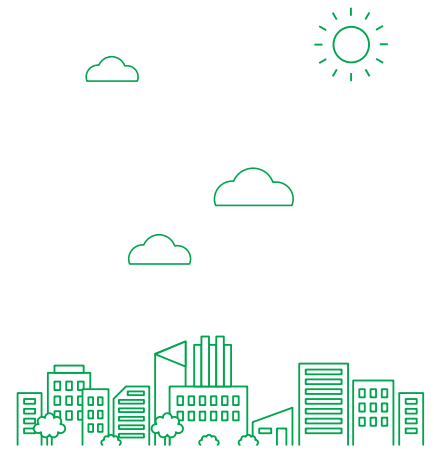
※3
とうきょうぶんかしげんかいぎ
東京文化資源会議

上野寛永寺から旧江戸城に至る
東京都心北部一帯（上野、本郷、谷根千、神保町、秋葉原、神田、根岸、等）には、近世・近代・現代と、時代をまたぐ文化資源が集積しています。この特色のある文化を保有する地域を中核として育まれてきた、ソフト・ハードあわせ様々な文化資源を活かしたプロジェクトを進めていくことで、2020年以降の新たな東京をつくっていくと活動しています。
<https://tcha.jp/>
東京文化資源会議HP

※4
とうきょうとちゅうしやじょうじょうれい
東京都駐車場条例

大規模な建築物の駐車場を設置しなくてはならない東京都駐車場条例の対象建築物の対象建築物には、「特定用途の部分の床面積及び非特定用途の部分の床面積の3/4の合計が1500㎡を超えるもの。」という規程があります。

このため、大規模建て替えをした場合に、駐車場附置義務が発生し、1階部分に駐車場の入り口が作られることがあります。



ブックハウスカフェで対談 左から山本、角谷、今本、高山
※対談はマスク着用で行なっていました。

いのですけどね、車椅子を利用している人も、安心して来ることができる商店街を創ることは考えなきゃいけないと思うているのですよね。例えば、「だれでもトイレ」の場所をアナウンスして、神保町の街に来た時に、安心して街を楽しめるようにするとかね。

五感で感じられる 商店街づくり

山本 コロナ禍で仕事の方法などに変化はありましたか？

高山 インターネットで古書を買えるような仕組みを充実させたことですかね、124件の古書店に高精細なカメラが入って、本の質感までわかるような形で紹介するとか新しい取り組みをね。もともと古書は、海外からの問い合わせも多かったので、英語と中国語のキャプションもいれて、国外からの注文を加速するとか、そういったことに取り組んだっていました。

今本 いま、何でもインターネットで便利に手に入る時代ですが、絵本くらいは子どもたちが手に取って選べる専門店が必要だという強い気持ちで経営してきました。そのため、毎日のようにイベントを開催し、人

が集まって楽しむ場所づくりを心がけて、手渡しで本を売ることになったってしました。でも、自粛期間の1ヶ月お休みをしている間に、さすがに重い腰をあげて、オンラインショップやネット決済を導入しました。コロナがなければトライしなかったことに組みめたと思います。

山本 コロナ禍で逆にオンラインショッピングを拡充するなど、模索されてきたということですね。今後はどうでしょうか？

角谷 今ですと、ネットショッピングで皆さん買い物されるので、スポーツ業界ですと、スキーの板とかはどこで買っても変わらないのですけど、靴のように履くものに関しては、合うものを探したいですよね、だから店舗に来てくださいます。それと、年齢層が上がってくると、ただ安いモノを求めるといふより、話をしながら買い物を楽しむとか、そういう傾向がありますよね。実店舗って、一つの街の中の居場所なのだと思うのですよね。

今本 商店街って、コミュニティの場所でもあるし、やはり人は人に会いたいものだと思います。変わらずに、そこにある店舗って、嬉しいものではないでしょうか。

高山 やっぱ、人間って、いろいろ

な場所に行きたい、知りたい、新しいものを見たいとか、人の根源的な欲求があるのですよね

今本 そうですよ、インターネットでのショッピングとかコミュニティションが発達しても、人はリアルに人に会うことや、実店舗の楽しさを求めているし、残ってほしいと思って下さっていると思うのです。お店が閉店すると、特に利用していたわけでもないのに寂しく思ったりしますよね。うちの書店では、自粛期間中にサポーター制度を立ち上げて応援をお願いしました。本当にありがたいことに800人くらいのお客様から応援と温かい励ましの声を頂きました。「ブックハウスカフェは必要な場所です。いつの間にか閉店したりしないでください」というメッセージもあり、本当に励まされましたし、責任も感じました。

高山 やっぱ、商店街に行って人に会ってことは必要ですね。

今本 商店街なのだけど、劇場みたいに、楽しめるような空間だとか、一体感を感じられる、そんなお店づくりや商店街を作っていきたいと思っています。

山本 街の魅力を五感で感じられるように商店街の価値を高めていくことがますます重要になりますね。

新春対談

街をかたち創る



秋山 利昭 あきやま としあき

東京都商店街振興組合連合会 副理事長
千代田区商店街振興組合連合会 代表理事
千代田区商店街連合会 副会長
神田駅西口商店街振興組合 理事長

神田駅前徒歩1分に「神田の傘や」があります。1970（昭和45）年に傘の販売を開始、アンブレラ・マスターの有資格者です。

神田駅西口商店街振興組合は地域の安全安心街づくりのために夜間パトロールをつづけていました。そして平成20年、「警視庁生活安全部長賞」や東京都が主催する「商店街グランプリ」の活性化部門に「安全、安心、街作り」でエントリー、優秀賞を受賞しました。環境問題にも精力的に取り組み（一社）千代田エコシステム推進協議会副理事長として活動しています。

渡辺 達朗 わたなべ たつろう

専修大学 商学部長 教授 博士（商学）

専攻分野：流通論・流通政策論
研究テーマ：まちづくりと地域商業・食品ロス削減など
サステナブル・フードチェーンの構築

専修大学渡辺達朗ゼミナールでは、「地域と食のマーケティング」をテーマに、東京都千代田区の靖国通り商店街連合会、神田古書店連盟などとコラボレーションしながら活動しています。

『流通政策入門－市場・政府・社会 [第4版]』中央経済社、『小売業起点のまちづくり』有斐閣 他多数

千代田区商店街振興組合連合会代表理事の秋山さんと、専修大学商学部長の渡辺教授に、新春対談をしていただきました。お二人には、商店街の立場から見た街づくりと、大学や学生の立場から見た街づくりのこれまでとこれからについて語っていただきました。

商店街連合会と商店街振興組合

秋山 新年早々ですけどね、いろいろ話をしておきたいことがありまして、商店街連合会と商店街振興組合連合会って、なぜ2つあるのだろうという話です。

渡辺 いわゆる区商連と区振連ですね。

秋山 そもそも、商店街振興組合っていうのは、商店街振興組合法に則って運営している法人なので。

渡辺 「商店街振興組合法」は1962年に施行された商店街支援政策の原点のような法律ですね。

秋山 ずいぶん前ですが、商店街の代表が東京都に対して、「商店街関連の予算を確保してくれないか」と要望を出したら、東京都からは「任意の団体には予算を出すことができません、振興組合法に則った法人をつくれば、商店街予算を出します」という返事が来て、商店街に予算がおりてくるということなのです。

渡辺 法人化することで、東京都などの予算を利用して、商店街の活動や設備投資がやりやすくなるわけですね。

秋山 振興組合になると、消費税等も払って、納税して、決算書を関係機関に提出し、一般の法人とおなじような形で運営されるわけです。その他には、理事会議事録や決算書も公開し、決算内容に関して

は10年間の開示義務があるわけです。

渡辺 振興組合は、商店街の活動や決算などの情報が公開されていて、会員や地域のためにどのような活動をしているかが一目瞭然になっているわけですね。こうした情報公開は重要ですね。

秋山 任意の団体が振興組合になる条件は、30軒が近接して商店が集まっていなくちゃならない。次に、その地域の3分の2以上が組合員になること、さらに組合員の半分以上が小売業かサービス業であることです。

渡辺 任意の商店街が振興組合になるメリットって、というのはどんなものがあるのですか？

秋山 現実には東京都の商店街向け予算の使い方も、商店街振興組合においた予算を任意の商店街に分配して使っているっていう形になっています。

渡辺 ということは、商店街振興組合になったほうが、直接予算の申請ができるのですね。

秋山 そうそう、だから、商店街振興組合になったほうがいいのですよ。

生活環境条例と商店街

渡辺 振興組合の活動の一つには、地域の安心安全を確保して、暮らしやすい街をつくるってことだと思うのですが、そのあたりのお話を聞きたいです。

秋山 それはね、バブルの頃（1986～1991年）は、千代田区番町、麴町のあたりは、大きなお屋敷がずっと続きであって、庭にプールがある家もあるような。それが、30年経った今、大きなお屋敷はほとんど無くなって、高層ビルばかりが目立つようにな

りましたね。

渡辺 麴町、番町の台地の辺りは、もともと江戸時代までは大名や旗本の武家屋敷街で、バブルの前まで大きな邸宅が残っていましたよね。

秋山 下町って言われる神田の方でも、その当時に、高層ビルがたくさん建設され、当時、神田界限は大きな会社がたくさんあって、キッコーマンの東京本社、清水建設の寮、東京電機大学、博報堂、大林組の東京支店があって、小さいビルにもたくさんの部署が入っていて、日立の関連の会社も沢山の数がビルのテナントに入っていました。

渡辺 前の博報堂ビルは、今はテラススクエアになって古いビルが一部分残されていますね。

秋山 バブルが崩壊したところからかな、まず日立関連の会社が移転し、そうしたら、その後、他の会社もどんどん移転して、神田のビルが軒並み空室になっちゃったわけです。

渡辺 ああ、そうだったのですか。

秋山 人通りが極端に減っちゃった通りもあり、1日5～6万人くらい通っていた通りでも半分くらいになったところもあります。

渡辺 昼間の人口が激減したのですね。

秋山 空室が増えて新しく入居するテナントが無いとなると、どうしても商店街にとって、雰囲気の良いテナントが入ってきちゃう。それで歩道に雰囲気の良くない置き看板や捨て看板をたくさん置いちゃうわけですよ。あとは、青少年に見せたくないような内容のチラシや看板とかね。歩道も電話ボックスも、あちこちの通りが雰囲気の良くない看板や

商店街振興組合とは

商店街振興組合とは、商店街を形成する小売業やサービス業を営む事業者等が、街路灯・アーケード・カラー舗装・共同駐車場などの共同施設や、集会場・コミュニティ施設の設置等の商店街を中心とした環境整備事業を行い、まちづくりを推進します。また、売出し・宣伝・イベント開催などの販売促進事業等の共同経済事業も実施する組合組織です。

商店街振興組合は、商店街を中心としたまちづくり推進のための組合制度で、以下のような設立要件が必要となります。

- ①小売業・サービス業を営む事業者30人以上が、近接して商店街を形成していること。
- ②組合の地区内の組合員となれる資格を有する者の3分の2以上が組合員となること。
- ③組合員となる事業者の2分の1以上が小売業又はサービス業を営む事業者であること。

（出典：全国商店街振興組合連合会ホームページ商店街にぎわいPLAZA）

チラシでいっぱいだったわけです。

渡辺 あの時代、あちこちの繁華街でそうしたことが起きましたよね。このまま進むと、街が荒廃し、取り返しがつかないことになってしまうと多くの人々が心配していました。

秋山 だけど、歩道に置かれた雰囲気の良くない看板を撤去するのが難しくどうしたらいいか困っていました。

渡辺 それで生活環境条例ですね。

秋山 そう、生活環境条例を作ってもらって、街にとって雰囲気の良くない看板とか、歩道をふさぐ看板を規制することができたわけです。

街の価値を高めるには

秋山 この時期に空室が増えたビルの大家さんが、ビルを売ってしまって、新しいオーナーさんになってしまったのだけど、オーナーさんがこの土地とゆかりのない人にかわると、商店街の活動に参加しないオーナーさんが多くなってね。

渡辺 ビルの大家さん自身が商売をしていると、街にどんな人が来ているのか、増えているのか減っているのかなど、とても気になると思うのですが、街に縁もゆかりもない人がオーナーになると、そうしたことが気にならなくなるのですね。

秋山 街に人が来れば、不動産価値も上がる、売り上げもあがればテナント料も上がる。だから、固定資産税があがらないとだめだと思います、固定資産税があがれば、地域の価値が上がる。

渡辺 ただ、どれだけテナント料がとれるかだけを

基準にして借り手を選ぶと、街の雰囲気や治安が悪化することがありますよね。短期的にテナント料を上げを考えるのではなく、長期的な視点で地域の価値を上げる努力をし、この街に出店したいという人が増え、結果としてテナント料が上がるというのが望ましいシナリオですね。

秋山 地域の価値を上げることを皆でやらないと地域の価値は下がるだけなのです。それは、オーナーさんも参加して、自分で価値を上げるように活動しないとだめですね。オーナーさんが商店街を作ることに参加しないとね、テナントが変わってもオーナーさんは変わらないのですから。

渡辺 ヨーロッパでもアメリカでも、街づくりの第一歩はセーフ・アンド・クリンリネス（安全と清潔）と言われています。

秋山 道路を維持して、ガム取りして、街を保持するために活動しているわけです。街は自分達で創るものなのですから。

大学と商店街

渡辺 街の価値を上げることと並行して重要なことは、街の関係者、つまり住民や事業者、勤め人、学生、その他の来街者自身が、街の価値を知ることだと思います。住民や事業者の皆さんは、街の価値にプライドをもって、さまざま活動を行い、その魅力に引き寄せられて多くの人たちが集まる。

秋山 まずは、街が持っているものを生かさないとね。

渡辺 学生には、地域マーケティングの研究の一貫で、地域の価値を発見するとか、地域の隠れた良さ

千代田区生活環境条例の成り立ち

千代田区の住民は少ないものの、昼間の人口は90から100万人とも言われ、往来する人の多さも関係して、ポイ捨てや歩きタバコ、置き看板などの路上放置物などに悩まされていました。

区役所や区長との対話集会には、こうしたことへの改善を求める強い要望が地域から数多く寄せられていました。このことから、平成11年4月に「ポイ捨て禁止条例」をスタートさせ、ゴミのポイ捨てや公共の場での歩きタバコを努力義務として禁止し、きれいなまちを目指してきました。

平成13年6月に千代田区環境条例案に着手し、区役所内の検討組織で内容を固める一方、所轄警察や東京検察庁と罰則について協議を重ね、パブリックコメントや地域団体、商店会などと意見交換を行うなど様々な角度から検討を加えていきました。

平成14年6月24日、第2回区議会定例会で条例が可決、成立し、平成14年10月1日に施行されました。

(出典：千代田区ホームページ 千代田区生活環境条例のあらまし)

を見つけるという活動に取り組んでもらっています。

秋山 お散歩マップですね。

渡辺 例えば、神田神保町の古書店街といっても、学生には自分たちには縁遠い、昔ながらの古本屋さんのイメージしかありません。しかし、実際に街を歩いてみると、古書店といっても音楽や映画、サブカル系など、自分たちの身近なものを扱っているお店があったり、老舗の喫茶店やおしゃれなカフェ、中華料理店やカレー店などが、街中にたくさんあり、これらが一体となつての魅力を構成していることがわかってきます。

秋山 商店街の要素って目に見えるものだけじゃないってことですね。

渡辺 地域の人も、「うちの街は何もないよ」って思っている場合もあるのですが、若い学生が目で見ると、実は隠れた魅力があることもあるのですよね。

秋山 そうなのですね。

渡辺 もともと地元の人間ではない学生から見た、新しい目線の街の良さと、地元の人が思っている街の価値とをぶつけ合つて、あらためて地域の価値を発見して、その街にはこんな魅力があるのだから、こういった街を創りたいねっていうね、そういうことを話し合っていければいいと思うのですよ。

秋山 それには時間がかかりますね。

渡辺 そうですね。自分たちの子どもや孫の世代に、どのような街を残したいか、これが出発点になると思います。その目標に向けて、今ある街の資産を生かしながら、10年後の街をどのような価値あるものにしていくかの具体的なイメージを関係者みんな

で共有する。それに向けて、向こう五年間とか三年間で何をどう行うのか、そのために今年一年何をどう行うのかという、バックキャストिंगの発想で具体的な行動計画をたてる必要があると思います。コロナ禍でたいへんな状況だからなおさら、目先の利害だけでなく、長期的な視点で街の価値を高める活動が求められているのではないのでしょうか。

秋山 やっぱり街のプロモーションをどうするか、今あるものをどうするか、無いものを作ろうって話じゃなくて、あるものをどう生かそうかって話から、もっとしていかないかね。先生、今年もひとつ、よろしくおねがいします。

渡辺 ありがとうございます、商店街と大学が連携した取り組みをさらに発展させたいですね。今年もよろしくお願ひします。

秋山 コロナが終息し、早く学生さんが登校してくるといいですね。



専修大学商学部長室で対談
左：渡辺教授 右：秋山代表理事
※対談はマスク着用で行なっていただきました。

お散歩マップの取り組み

2016年度に千代田区商店街振興組合連合会と、区内の大学に通う学生が協力して区内3つの地域の「お散歩マップ」を作成しました。このお散歩マップは、区内商店街をはじめとする街の魅力の発見と発信を目的にした企画で、学生たちが商店街との連携しながら企画、取材、製本、配本までを行いました。

右の写真の2つの冊子は、専修大学渡辺ゼミの学生が、この間の活動の成果をまとめたものです。右側は、靖国通り商店街連合会を応援する冊子「ようこそ靖国通り商店街 Vol.1」で、地域に配布したところ、第一刷は即座に配布が完了してしまい増刷するほど好評でした。左側は、2020年4月から7月のコロナ禍の下、大学に登校できない学生が、オンライン授業を受けながら、インターネットの情報を頼りに作成した冊子です。こちらも地域の人たちから好評を博しています。



本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

令和三年 千代田区商店街連合会・千代田区商店街振興組合連合会（順不同）

東京交通会館名店会 会長 小島 将	日比谷公園陸会商店会 会長 小坂 文乃	日比谷商店会 会長 小野寺 喬	日比谷100年通り商店会 会長 曾根崎武吉	有楽町中央通り商店会 会長 岸野 誠人	九段商店街振興組合 理事長 小野里耕作	麹町通り商店会 会長 小林 武彦	日本テレビ通り振興会 会長 岸本 吉生	九段下さくら会商店街 会長 中村 清	飯田橋商店街振興組合 理事長 松村 善一	ラムラ商店会 会長 水口 嘉徳
東京大神宮通り 飯田橋西口通り商業連合会 会長 松浦 純一	一栄会 会長 河原 英夫	小川町商光会 会長 田澤 志郎	神田すずらん通り商店街振興組合 理事長 大橋 知広	神田白山通り商愛会 会長 内藤 勝弘	神田白山通り神保会 会長 角谷 幸男	神田白山通り西神田通り会 会長 三澤 真一	グリーン・アレー商店会 会長 水野 裕之	幸徳会 会長 増田 襄	神二陸会 会長 傳 健興	神保町さくら通り実業会 会長 糸島 正之
駿河台下グリーン・アレー通り会 会長 澤山 和孝	通神商業会 会長 瀨瀬 公夫	南神実業会 会長 高山 肇	パレスサイドビル名店会 会長 岡田 洋明	表商会 会長 川瀬 廣明	福興会 会長 河村 達之	北神実業会 会長 稲垣 秀明	まえだれ会 会長 角谷 幹夫	須田町親交会 会長 小家 進	須田町北部商店会 会長 堀田 康彦	ワテラス出店者会 会長 藤森 功
神田駅東口一番街商店会 会長 小林 忠義	神田駅前商店会 会長 中山誠之助	神田ふれあい通り商店会 会長 平山 深雪	神田上白壁橋通り飲食商店会 (令和2年9月15日理事会承認) 会長 麓 雄介	出世不動通り商店会 会長 土井 新三	秋葉原駅前商店街振興組合 理事長 八巻 秀次	秋葉原商店街振興組合 理事長 河合 洋	お茶の水サンクレール商店会 会長 芳山 俊彦	お茶の水茗溪通り会 会長 瀬川 昌輝	連合会 監事 櫻井 君徳	連合会 監事 高野 健次

— 千代田区商店街連合会賛助会員 —

株式会社 ビックカメラ
岩本町・東神田ファミリーバザール実行委員会
株式会社 シーアイシー
株式会社 大丸松坂屋百貨店 大丸東京店

有限会社 ヴィルゴビール
社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会
一般社団法人 千代田区観光協会
大和ハウス工業株式会社

新型コロナウイルス感染症に関する行政機関の支援策

国や東京都・区などの緊急事態宣言の再発令に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出自粛などにより影響を受ける事業者に対する支援行われています。各行政機関のホームページをご案内いたします。皆様の実情に合わせ各支援策を活用ください。

※各支援策は重複して支援を受けられませんのでご注意ください

経済産業省	緊急事態宣言の再発令に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出自粛などにより影響を受ける事業者に対する支援を行います。 https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html	
農林水産省	GoTo Eat キャンペーン東京 https://gotoeat.maff.go.jp	
財務省	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置 https://www.mof.go.jp/tax_policy/keizaitaisaku.html	
中小企業庁	新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小企業者・小規模事業者に対して固定資産税・都市計画税の減免を行います https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zeisei/2020/200501zeisei.html	
東京都	新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの企業や都民のみなさんが利用できる、東京都および国の支援情報を探すことができるサイトです。 https://covid19.supportnavi.metro.tokyo.lg.jp	
千代田区	新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者向けの支援策の概要などを一覧にまとめましたので活用ください。 https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/shigoto/jigyosho/shien-coronavirus.html	

千代田お弁当大賞 2020 グランプリ決定

2020年10月から12月まで参加店舗数58店舗で行われた「千代田お弁当大賞2020」は「イタリアンダイニング DONA（ドナ）有楽町イトシア」店が多くの方から支持を得てグランプリを受賞しました。

受賞者の声「コロナ禍で始めたテイクアウトですが、お店の味をテイクアウトでも楽しんでもらえるように心がけました。今回の受賞を励みにしたい」

※「千代田お弁当大賞」とは！

コロナウィルスの影響で疲弊する飲食店が元気を取り戻すよう応援し、コロナ終息後に向けた地域の活性化を目指して関係団体が協力し実施した事業。



千代田お弁当大賞 2020 のグランプリに輝いた
イタリアンダイニング DONA（ドナ）有楽町イトシア店